

会 議 録

名 称	令和5年度 松山市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会（第2回）	
事 務 局	保健福祉部 保健福祉政策課 調整・評価担当 TEL 089（948）6821 FAX 089（934）1832	
開催日時	令和5年10月19日（木） 午後1時30分～午後2時25分	
開催場所	松山センタービル1号館4階 第1会議室	
出席者	委 員	石丸委員、戒田委員、金村委員、川口委員、田中委員、長谷川委員、逸見委員 宮田委員、村岡委員、村上委員、芳野委員（五十音順・敬称略） 計11名
	事務局	保健福祉政策課 橋口課長、藤原主幹、高松副主幹、市川主任 （市社協 堀江部長、原井川課長、秋元 3名同席）
議 題	議案第1号 第5期松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画(案)について	
議事内容	<p>1. 開会 分科会委員総数15名中11名の出席で過半数に達していることから、松山市社会福祉審議会条例施行規則の規定に基づき、本会が成立していることを報告した。</p> <p>2. 議事 議案第1号 第5期松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画（案）について ＜事務局説明＞</p> <p>（金村委員）地域福祉の広報活動で各施設へ依頼する際、施設ごとで審査があり縦割りを感ずる。各施設の役割は異なると思うが一括で審査するような仕組みはできないか。</p> <p>（橋口課長）内容にもよるが、各所管課が預かり各施設や部局へまとめて配布する方法等は可能と思われる。</p> <p>（金村委員）地域猫活動などは、子どもであれば命の大切さを学べ、高齢者であればアニマルセラピーのような要素もあり、こういった地域活動は地域福祉の視点でも活用できると考える。新しい視点として計画に取り入れてみてはどうか。</p> <p>（橋口課長）地域によって様々な活動があるため、計画への盛り込み方について検討したい。</p> <p>（戒田委員）企業に取り組んでほしいところを強調してほしい。アンケートの数値を見ると、一般企業の福祉への関心が低い。地域福祉計画に企業との関りを掲載することによって、企業の関心をもっと取り込んでほしい。また、「へこまんくん」のようなキャラクターを計画に活用することで周知に役立つのではないか。</p> <p>（橋口課長）計画の中で企業に触れる部分を洗い出し、地域全体で取り組んでいくということを企業にもご理解いただける文面に修正したい。へこまんくんについては、社協単独事業にマークを付けるなど活用を検討したい。</p> <p>（村岡委員）国の地域共生社会の実現に関する一文の中に、地域の実情に応じて多様な参画の導入という文言があるので、地域の実情に応じて、企業の参画や地域猫活動なども検討することは有効である。また、資金面などの行政のバックアップだけでなく、企業との連携によって持続可能なものにしていくという視点が有効であるし、企業にとってもSDGsなど社会貢献を念頭にしているところがあるため、お互い相乗効果がある取組になるのではないかと期待する。</p> <p>（田中委員）「地域福祉」はとても広いため、自分は協力できていないと考える人がいる。地域の見守り、子育てへの協力、挨拶をするだけでも、地域福祉に関わることだということを広めてほしい。</p> <p>（村上議長）事務局には、各委員から出た意見・要望を参考に、今後も策定作業をお願いする。</p>	

	<p>計画の骨子及び策定の方針について、現在の方向性で進めることについて了承を得た。</p> <p>3. 閉会</p>
備考（資料）	<p>（配布資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度 第2回 松山市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会 次第 ○地域福祉専門分科会 配席図 ○地域福祉専門分科会 委員名簿 ○第5期松山市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画(案)
公開・非公開	<p style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 全部公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開 </p>
傍聴者数	<p>0人（2席）</p>